

平成31年度 学校安全 全体計画

小笠原村立小笠原中学校

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 東京都教育委員会教育目標 小笠原村教育委員会教育目標	学校教育目標 ・よく学び、考え、行動する人 ・やさしくたくましい人 ・社会の一員として貢献できる人	生徒の実態 ・明朗闊達である ・向上心や判断力が乏しい。
--	--	------------------------------------

学校安全目標
 自分の身は自分で守るという態度や能力を育成する。

- 安全教育の方針（身につけさせたい能力・資質）
- ① 安全行動に対する正しい知識と判断力を身に付け、場面に対応できる実践力を育てる。
 - ② 集団や社会の安全に進んで協力し、貢献できる態度を養う。
 - ③ 情緒の安定を図り、注意力を付け、冷静に行動できるようにする。
 - ④ 安全管理のための点検や配慮に対する習慣を養う。

各教科・道徳科	特別活動	総合的な学習の時間
安全についての知識や技能を養う。(各教科) 生命尊重の精神を培う。 (道徳科)	日常生活において安全に十分注意して活動を進めるとともに、不測の事態に的確に対応できる主体的な実践力を養う。	自分の生活や地域を見つめ、追求する体験的な活動を通して、危険を察知し、安全に行動できる資質・能力を養う。

指導内容		
生活安全	交通安全	災害安全
・授業での安全 ・部活動中の安全 ・登下校中の安全 ・セーフティ教室（関係機関との連携） ・不審者対応（校内、校外） ・AED講習（体育の授業で実施） ・薬物乱用防止教室 ・海の安全（関係機関との連携） ・情報モラルの教育 （SNS 東京ノートの活用）	・登下校中の安全 ・交通安全教室（警察との連携） ・自転車点検 ・安全指導	・危機管理マニュアルに即した避難訓練 （火災・地震・津波・台風・地震による火災） ・安全指導 ・村の防災訓練 ・防災ノート「東京防災」の活用

- 家庭・地域・関係機関との連携
- ・警察署との安全教室、セーフティ教室での連携
 - ・村の防災訓練への参加、小学校との連携
 - ・学校だより等による保護者への啓発

- その他
- ・「地震と安全」、「3.11を忘れない」等の資料の活用
 - ・スクールカウンセラーとの連携

平成31年度 学校安全 指導計画

月	設定時間	項目	指導内容
4	昼休み	安全指導	自転車安全点検
	朝学活	避難訓練	避難経路の確認
	4校時	交通安全教室	警察の方を講師とした交通安全教室
5	朝学活	安全指導	地域班の確認
	朝学活	避難訓練 台風	台風接近想定での避難訓練 地域班での顔合わせ、班長の確認
	体育授業時	安全指導	水泳事故防止安全指導、AED講習
6	1校時終了5分前	避難訓練 地震	地震発生で図書室付近の倒壊を想定した避難訓練 《経路A》
7	朝学活	安全指導	海の安全について
	4校時終了5分前	避難訓練 火災	家庭科室からの出火を想定した避難訓練 《経路B》
	朝学活	情報モラル教育	SNS 東京ノートを用いた情報モラルの指導
	全体学活		夏休みに向けた安全指導
	6校時	セーフティ教室 薬物乱用防止教室	警察の方を講師とした犯罪被害防止および 薬物乱用防止の講話
8	放課後	安全指導	自転車安全点検
9	始業式	安全指導	災害時の初期行動について
	○校時	避難訓練	村防災訓練に伴う避難訓練 地震による大津波を想定した大神山への避難
10	朝学活	安全指導	交通法規（信号と標識）①
	4校時終了5分前	避難訓練 地震	震度6強の地震が発生し、図書室付近の校舎に 倒壊の恐れがあることを想定した避難訓練 《経路A》
11	朝学活	安全指導	交通法規（信号と標識）②
	昼休み	避難訓練 地震	地震発生で理科室からの火災を想定した避難訓練 （生徒に時間の予告をしない）《経路B》
12	朝学活	安全指導	登・下校時の安全（不審者対応）
	2校時と3校時の 休み時間	避難訓練 火災	技術室からの出火を想定した避難訓練 （生徒に時間の予告をしない）《経路B》
	全体学活		冬休みに向けた安全指導
1	昼休み	安全指導	自転車安全点検
	6校時終了5分前	避難訓練 火災	職員室からの出火を想定した避難訓練 （生徒に実施の予告をしない）《経路A》
2	朝学活	安全指導	自転車通学に関する個人の振り返り
	朝読書時	避難訓練 地震	地震発生で新校舎付近の倒壊を想定した避難訓練 （生徒に実施の予告をしない）《経路B》
3	朝学活	安全指導	東日本大震災から学ぶ
	2校時終了5分前	避難訓練 地震・津波	大津波警報発令を想定した避難訓練 （生徒に実施の予告をしない）《経路B》
	全体学活		春休みに向けた安全指導